

### 【今週の注目疾患】

#### インフルエンザ

2015年2週の県全体の定点当たり患者報告数は、1週の14.04から増加し32.81となった。過去4シーズンと比較し最も多く、今後の流行状況に注意が必要である。

千葉県健康福祉部疾病対策課 インフルエンザについて

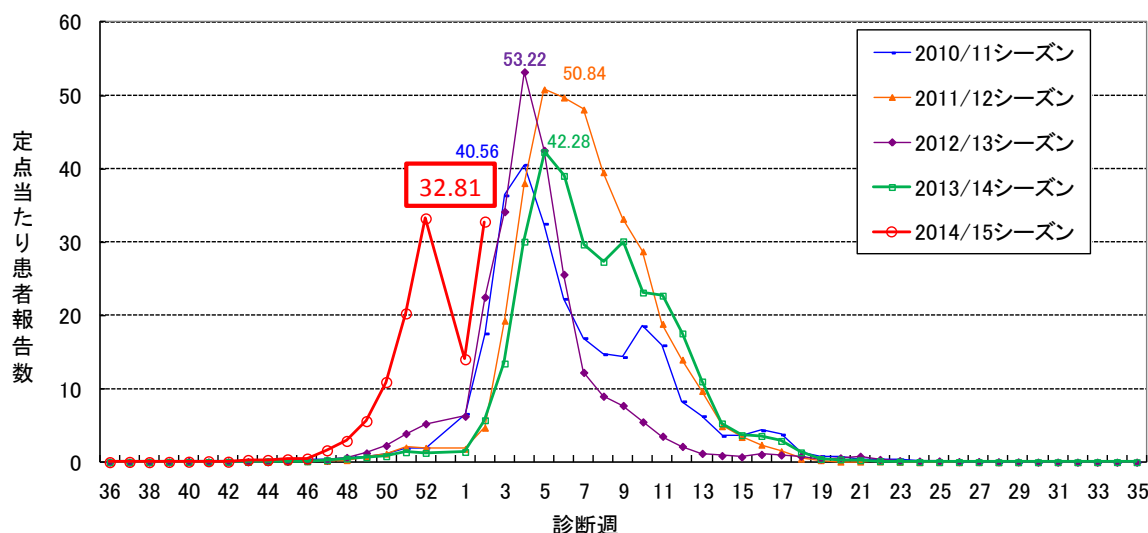
URL: <http://www.pref.chiba.lg.jp/shippei/kansenshou/influenza/index.html>

保健所別の定点当たり報告数は、16保健所中9保健所管内で警報レベルの30を超えた。30を超えた保健所は、海匝(53.71)、長生(44.14)、君津(42.69)、市原(41.36)、印旛(38.46)、山武(36.00)、安房(35.29)、松戸(35.08)、夷隅(34.40)だった。

2015年2週の年齢群別報告割合は、5～9歳17.8%、0～4歳17.5%、10～14歳11.9%が多く、2014/15シーズン全体では、5～9歳25.3%、10～14歳20.3%、0～4歳13.5%となった。

2015年2週の小児科・インフルエンザ定点医療機関の協力による迅速診断結果の報告は、6,255例中A型6,115例(97.8%)、B型101例(1.6%)、A and B型1例(0.0%)、A or B型38例(0.6%)だった。2014/15シーズン合計では、23,737例中A型23,204例(97.8%)、B型325例(1.4%)、A and B型5例(0.0%)、A or B型203例(0.9%)だった。

千葉県の流行シーズン別インフルエンザ定点当たり患者報告数



インフルエンザ

